

ときがわ町文化財保護審議委員会会議録

会議の名称	平成28年度第1回ときがわ町文化財保護審議委員会
主な議題	委嘱書の交付 委員長、副委員長の選出 文化財収蔵施設について
開催日時	平成28年5月20日（金） 午後2時00分～午後2時40分
開催場所	玉川公民館 1階視聴覚室
会議録の公開（非公開・一部非公開）とその理由	全部公開
出席委員	岩田泰治委員、小島洋子委員、吉野優子委員、野中仁委員、小林幸枝委員、山本富士雄委員、
事務局	船戸裕行教育長、石川安司生涯学習課長、森村恵美子生涯学習課主査、杉山拓馬生涯学習課主事

【審議等内容又は概要】

1 開会

森村生涯学習課主査

2 委嘱書の交付

教育長から各委員へ委嘱書を交付

3 あいさつ

船戸裕行教育長

4 委員長、副委員長の選出

ときがわ町文化財保護審議委員会規則第4条に基づき、委員の互選により

委員長 岩田泰治委員

副委員長 小島洋子委員 に決定。

委員長、副委員長よりあいさつ。

5 議題

(1) 文化財収蔵施設について

説明者 事務局 森村生涯学習課主査

事務局より、資料に基づきときがわ町立明覚小学校南校舎の施設概要について説明を行う。

【議長】 質問等があったらお願いします。

【教育長】 明覚小学校南校舎を上手く活用していこうとする資料は、私が就任した当初からあった。明覚小学校は、元々は児童が400人前後いたので南校舎が無くては困る状態であったが、現在は半分以下となっている。実際に使用中ではあるが、仮住まいする場所や置き場所がな

いという問題は工夫しだいで何とかできるので、その辺は進めていけるのではないかと。2～3年前に当時の校長に校舎を空けることは可能かと訊いたところ、可能であるとの回答であった。その時にはまだ具体的な話が煮詰っていない状態であったが、その場所が適宜であるということであれば私の方から話をするには可能である。

【議長】 鳩山町に勤務していた関係で申し上げるが、小学校に民具室と中学校に資料室があった。松栄小学校の民具室は、小学生がバスで来て見学ができるようにしている。明覚小学校に民具室があれば小学生が利用しやすいと思う。中学校の資料室にも民具が置いてあったが、中学生になるとなかなか時間的に見る機会がない。小学校に民具室があるととても良い感じがするが。

【議長】 これについて、何かご意見はないか。

【委員】 先程の教育長のお話しにあったように、バス車庫が使えなくなるのでその部分を明覚小学校へ移すのか、それとも議会で質問が出たように3箇所分散しているものを1箇所に集中させるために使うのか。バス車庫の分だけということだと収蔵施設は3箇所のままなのか。1箇所にする場合には面積的に足りるのか。そのあたりを伺いたい。

【事務局】 両方とも関係している。合併後の重複施設の統廃合のこともあるし、資料の保管場所が分散しているものも集約したい。

【委員】 物理的には可能なのか。3箇所から全部集めた場合、面積的に全て収まるのか。

【事務局】 物だけでぎりぎりである。保管しているのは、民具資料と考古資料、刊行物、市町村史と市町村史で資料としてコピーしたものと大きく分けて4～5種類ほどになる。市町村史は重複する部分があるので、多少減らすことができる。民具については、種類も豊富でこの地域の暮らしの様子が分かる物はほとんど揃っているもので、これ以上増える可能性は低い。また、考古資料についても大規模開発がない限り増加は少量である。ただし、この先ずっと収まるのか考えていかなければならない課題でもある。ただ、分散しているのは、非常に利活用にとっても良くはないと思うので、そこは何とかしていきたい。

【教育長】 以前、バス車庫の取り壊しの話が挙がったことがあった。今はその話はなくなっているが、その時にバス車庫に保管されている文化財を明覚小学校の南校舎に移転してはとの発想があった経緯がある。また、施設の統廃合等検討委員会においても取り上げているが、まだ結論は出ていないと思う。

【事務局】 本格的には、平成28年度以降に町内全体で話が出てくる。現在のバス車庫や郷土資料室も検討対象となってくる。郷土資料室は雨漏りもしているもので、そういった現況も踏まえながら今後を見据えていく。

【委員】 我々は文化財保護審議委員なので、純粋に文化財の保護を考えていくと建物自体の耐震や床がどうなっているのか、盗難などをクリアできるのか。また、そこで展示をしていくことになり指定文化財を展示するとなると防犯や防火、耐震などが厳しいので、その辺りはどのように考えているのか伺いたい。

【事務局】 耐震についての対応はしていない。

【議長】 我々は文化財保護審議委員なので、文化財の保護も文化財を展示して活用することも両方を推進していかなければならない。明覚小学校1箇所で保存もでき、小学生が見学したり説

明を受けることができるようになればよいが。

【事務局】 実際の問題もあるので、現状を確認して現況を踏まえたうえでご意見をいただければと考えている。展示については、学校であれば学校教育の中での活用も考えられる。小学校であれば、民具の展示になるかと思う。歴史や考古資料などは難しいところもあるので。ただ、ある程度は集約化を進めていきたい。

【議長】 (1)については、今の説明を理解していただいて皆さんに更に良い案を考えていただき、また意見を出していただくということによろしいか。

【事務局】 明覚小学校南校舎は木造であるが、今日視察する旧松栄小学校は鉄筋である。ただし、耐震工事はしていないと思ったが。

【事務局】 今後耐震を含めた大規模改修工事を予定しているようである。今年度はそのための設計をする。

【事務局】 鳩山町も考古資料や民具の収蔵は別の場所に保管している。

【委員】 保管をする場所なのか、それとも学校教育の中で活用していくのかその辺をはっきりしておいた方がよいかもしれない。それにより、使い方が違ってくる。

【教育長】 委員の方もどういう構想で持っていきたいのか心配している。青写真をもっと示すように。

【事務局】 承知した。

【議長】 話は別になるが、先日郷土資料室を視察した際に、大変珍しい民具があった。できれば、町の文化祭のときに場所を開放して見学してみてもらってはどうか。

それでは、(1)についてはこの辺りで、(2)その他に移らせていただく。

## (2) その他

説明者 事務局 森村生涯学習課主査

事務局より、閉会後の現地視察についてスケジュールを説明する。

説明者 事務局 石川生涯学習課長

慈光寺の釈迦堂の再建について報告。

【事務局】 慈光寺は、同じ位置に再建を希望している。現在の釈迦堂跡地は土盛りがしてあり、その下に焼失した基壇がある。図面はあるが、実際に掘り出して礎石を見てその礎石が使えるのか、旧基壇の上にそのまま建物が建てられるのかというところが議論となっている。盛土にどの位埋まっているのかが分からないので、来週月曜日から試掘を始める予定でいる。土盛りがしてある所にT字型にトレンチを入れ深さと礎石の確認をし、それからまた協議をする。状況によっては、土盛りを全て取り払い設計士に確認してもらうことになる。また、状況によってどんどん変わってくる可能性があるが、県や町では文化財保護として旧基壇を残してくださいとの話はしている。一番良いのは、そのまま旧基壇や礎石が使えて建てられることであるが。その他に、建築基準法などの課題もいくつかあるが、慈光寺としては木造で元の位置に建てたいとのことである。なお、基壇は文化財の指定をされておらず、埋蔵文化財の包蔵地だけであるので、状況によっては記録保存による発掘ではなくなってしまうかもしれないが、それは何とか避けたいと思っている。

【議長】 釈迦堂の前に何かあったということはないか。

【事務局】 釈迦堂の基壇のところに焼失面が2面あって、何度か使いまわされている。その焼失面は

いつなのかという事だが、1つは戦国時代といわれている。ただし、調査しているわけではないので不明である。焼失直後の写真を見るとかなり大型の礎石でひよっとしたらかなり古いかもしれない。一番上の面は江戸時代でその下に焼失面があるので室町時代の可能性はある。

【議 長】 開山塔の隣なので、何か重要な施設があったのではないか。

【事務局】 開山塔が動いていないので、そういう意味では重要な場所となる。

【議 長】 そういうことがいくらかでも解明できればよいが。

【委 員】 住民の方が撮ってくださった写真に礎石部分が写っていなかったか。昔、その場所に行ったときに大きな石があって、その上に建物が建っていた記憶がある。

【事務局】 焼失直後の写真を見ると礎石の大きさがよくでていて、かなりの大きさである。図面はその後にある程度化粧をした感じで礎石を小さく取ってある。

【委 員】 その図面は、火事の後に作ったものなのか。

【事務局】 いつ作られたのかは分からない。

【委 員】 古代寺院調査の時ではなかったか。

【事務局】 古代寺院調査の方が古かったと思うが。

【委 員】 礎石は露出したままかなりの年数が経っていた。そこで礎石じたいがかなり劣化していると思う。その後しばらく経ってから盛土をしているので、はたしてどの位礎石が傷んでいるのか。

【事務局】 盛土をしたのは、平成 16～17 年位である。

【事務局】 図上には砂が何cmと記してあり仕様書はあるが、実際は仕様書どおりになっているのか分からない。損傷状態によっては礎石が使えないので、使えないと石を取り換えるという話になるがその場合は調査になる。

【委 員】 主体は慈光寺となるのか。

【事務局】 主体は慈光寺となる。県とは調整をされていて第一は基壇の保存。礎石が使えず工法的にどうにもならない場合には調査となる。そうならないようにと思っているが、かなり厳しい。

【委 員】 慈光寺を将来国の指定に持っていきこうとしたときに、釈迦堂が建っている、いないとではどうなのか。

【事務局】 同じ場所に木造の在来工法で建てるのであれば元々あったものなので大丈夫ではないか。また、後方の崖地に擁壁を組む話もあったが、それは慈光寺でもやらないと言っている。景観的なことにとっても配慮しているので。以上、このような動きがあるということをご承知おき願いたい。

## 7 閉会

森村生涯学習課主査

閉会后、文化財整理室並びに鳩山町文化財分室（多世代活動交流センター）の現地視察を実施。

その他審議会等  
の長が必要と認  
めた事項

配布資料（PDF形式）

・次第

・ときがわ町立明覚小学校 南校舎施設概要